

(3) ビューティーメイクコース

教科科目	科目の特長	科目の目標
化粧品学	化粧品に関連する法律や規制の学習から、化粧品と医薬部外品の相違点について理解を深める。化粧品原材料の成分や特性を理解し、自分が使っている化粧品の長所・短所を理解する。	化粧品や基礎化粧品メイクアップ用品の原料物質・性質を理解する。正しく理解することで、肌の状態、季節など、肌を取り巻く状況に応じて化粧品の正しい使い方ができるようになる。
接客マナー	社会人に必要な基礎力を身に付け好印象な女性へと導き、時代に合わせたモラルやマナーを理解し、体現できる女性への成長を求める。	マナーを理解し、素敵な女性へとブラッシュアップできたいという自信を身に付ける。
デッサン	観て・触れて・感じたことを描写を通して表現する。対象物の形をとらえることに慣れてきたら、それをどのように表現するか考える力を養う。	対象物を観察し、的確に表現する力、イメージしたものを想像する力を身に付ける。
心理学	心理学についての基礎となる部分について学び、授業中に行うワークや体験的な学びから、心理学的なスタンスと人のこころのあり方についての理解を深める。	心理学の基礎知識を学び、日常生活の対人場面での応用が可能となるような心理学的視点の獲得を目ざす。
メイク I	自分の顔や肌の特性を知り、なりたいイメージのメイクを仕上げる為の基本のテクニックを習得する。また、スキンケアやベースメイク、メイクアップの基本技術、メイクモデルに対してのマナーや声掛けの仕方を習得する。	JMA セルフメイク検定試験の合格 JMA メイクアップ技術検定試験3級の合格をめざす。
メイク IV	IBF 国際美容連盟の NY Make-Up Academy のカリキュラムに基づき、国際メイクアップアーティストとして必要な理論と技術を習得する。基本的なメイクアップ、各パーツ技術を習得後、顔分析を行った上でのフルメイク技術の完成を目ざす。	IBF 国際美容連盟 国際メイクアップアーティストライセンス認定試験技術試験の合格を目標とする。
メイクアドバンス I	今まで身につけた基礎技術・基礎技術からさらにスキルアップを目指し、コンテスト入賞のための高度なメイク技術を身につける。	メイクアップというクリエイションにおいて大切な要素「応用技術」「感性」「創造」「分析」を身につけメイクアップアーティストに求められる知識・技術を習得する。
メイクアドバンス II	各々の感性や創造力を駆使して、卒業前に2年間の集大成の作品を制作する。	ショーメイクや作品制作に必要なプロフェッショナルな知識・技術を習得する。
ブライダル I	ブライダルプロデュースに関わる役割や結婚式を創り上げるための様々なノウハウを習得する。	ブライダルに関する基礎知識や基礎技術の習得を目標とし、ウェディングプランナー検定取得をめざす。
ネイル I	ネイリストとしての基礎であるネイルケア、ファイリング、カラーリング、フラットアートを中心に検定合格レベルに達するように、実技、学科を進めていく。	JNEC 日本ネイリスト協会ネイリスト技能検定3級実技・筆記試験の合格をめざす。
ネイル II	ネイリストの基礎を中心にJNEC日本ネイリスト協会ネイリスト技能検定2級の合格レベルの実技、筆記試験の習得。また、JNAジェルネイル検定中級試験の実技、筆記の習得。	JNEC日本ネイリスト協会ネイリスト検定2級の实技・筆記試験合格を目標、JNAジェルネイル検定中級実技・筆記試験の合格をめざす。